

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスぐんぐん			公表日		2026年 1月 24日		
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	2	・高学年と低学年の両者が使えるように机や椅子を適切に配置している	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	4			・身体障害児、高学年、低学年が同日利用している為、余裕を持った人員配置をする必要があると思われる ・高学年と低学年及び身体障害の子が同時に利用していることもあり、定員に応じた職員数ではあるが、多少余裕のある配置が必要と思われる。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7				・バリアフリーではあるが、床面が滑りやすい点は改善が必要であると思う。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。		7				・ワンルームがデイルームで大きく見守りやすいが、同空間での多数の活動を展開しにくい点等、配慮が必要。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	2	・応接室を個別部屋として利用する工夫をしている				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	2	・毎日のミーティングの中で改善策を思案したりしながら業務に取り組んでいる ・毎日のミーティングや行事案の計画及び行程表の作成により、問題点を洗い出し、改善できる機会を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		3	4	・保護者等の意向等を把握する機会には設けていないが、ミーティング等の場で周知を受け業務改善に繋げている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	2	・ミーティング等で把握する時間を設けている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	5			・外部評価は出来ていないため今後出来るように検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7		・内部研修を多数おこなっている			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	1	・5領域を踏まえた支援プログラムは毎月行事予定表として作成し、配布を行なっている。また、事業所内に行事予定表を貼っておりみんなが見えるようにしている。			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7		・半年に1度は面談をおこなったり相談員とのモニタリングに参加させてもらっている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7		・面談後には必ず情報共有している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	1	・発覚管が計画書を作成後、ミーティングでの周知をおこない共通理解に努めている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7		・アセスメントシートを活用したり、毎日必ず記録を取って利用者様の適応行動の状況を確認している。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・支援会議に参加し、具体的な支援内容が検討されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員全員での行事計画の時点から、職員みなで活動プログラムを検討、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・活動プログラムは、毎年・毎月同じものが無いほど工夫している。楽しかったものは、数回重なる事もある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		こどもに合わせた活動を適宜提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・支援開始前にはミーティングを行い、役割分担等話している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・ミーティングの時間を利用しておこなっている ・支援終了後に残ってるスタッフで話しをすることがあるが翌日にも再度話しをしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・ハグにより内容の濃い記録をすることが出来、また検証や改善、問題点の記録が可能になり、職員全員に瞬時にPCより確認できるようになった	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・半年に1度見直しをおこなっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1	・4つの基本活動を軸に複数組み合わせた行事予定の作成を行なっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・本人の意思を確認し、その時・その場にあった支援を心がけている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・管理者や児発管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・学校や他事業所とは連携をおこなっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・送迎時に必ずおこなうようにしている ・行事等は学校さんから教えてもらって情報共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	・児童発達支援から放課後等サービスへ移行する際に担当者会議等で情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・事業所には出来ないが相談員に引き継ぐようにしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	・まだ積極的に連携が行われていない為、連携できるように努めていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・児童クラブや児童館との交流機会が少ない状況今後地域活動への参加も検討していく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・児発管が参加している	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時や面談時にお話して共通理解すように努めている		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・事業所の玄関に貼り出しはしている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・分かりやすく丁寧に説明するように心がけている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・個別支援計画を作成する前に必ずご家族様と面談しご意向等を確認したうえで作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・作成した後は必ず保護者様に説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・その都度話を聞いて相談に乗れるようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	・親子遠足・BBQ大会、子ども食堂などで関わる機会を設けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情受付担当者、解決責任者などマニュアルに記載しており保護者様が見える場所提示し周知している。 苦情を頂いた場合には迅速に対応を行なっていく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・Instagramを出来るだけ更新するようにしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付きの棚に入れて保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・お子様の特性や状態に合わせて、言語、非言語、絵カードを組み合わせたリ、使い分けしたりと分かりやすい手段での情報伝達に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・子ども食堂を開催しているが地域住民性は低いように感じる
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・感染症対応の研修は年2回おこなっている。その他、随時事業所内で検討している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・定期的に避難訓練をおこなったり、防災体験に行ったりしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・服薬の変更があり次第、お薬手帳などを借りて確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・保護者様から契約時や面談の際に細かく情報をいただき、全職員で情報共有している。おやつやクッキングの際には必ずアレルギーの物が含まれていないかの確認を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・障害児通所支援事業所安全計画を作成し、計画に沿って安全面の確保に努めている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・HPで公開した上で、安全計画を配布して家族等に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・事例が発生した際には、上層部への連絡を行い、記録用紙に記載し記録を残し、ミーティング等の機会に対策など検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・外部講師を招き部会でも研修を実施している。	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・何度も対応方法を検討し、情報を共有、記録も残している。	
----	--	---	--	------------------------------	--